

# 夢追い人



## 九州塗料工業(株)

専務取締役 熊谷 晃さん

「夢追い人」に何か良い情報はないかと、佐賀新聞記事データベースを見ていたら、「素材生かしたタンス開発」という見出しが目にとまった。人に優しい自然塗料を使った家具開発の記事であった。読み進んでみると、何でもこの塗料は、大川市内の塗料メーカーが開発したとのことである。

興味を引かれたので調べてみると、この塗料メーカーは当会議所会員企業の九州塗料工業であった。  
早速アポイントを取り、専務取締役の熊谷晃さんに話をお聞きした。



九州塗料工業が開発した自然塗料は、商品名グレースオイルで、工業塗装ができるオイルフィニッシュ塗料というもの。亜麻仁油を主成分に、硬化補助剤を加えて造られた塗料である。  
熊谷さんは、「この製品は、従来の自然塗料とは違い、作業性と強い耐久性、耐水性を持つているのが特徴です。」と語る。  
具体的に言うと、どんな特色を持っているのでしょうか。  
「よく自然塗料と言われるものは、北欧の風土に適したもので、低温低湿の環境にふさわしい薄膜仕上げになっています。ところが、日本の風土は高温多湿で耐水性、耐久性が要求されるのです。また、自然塗料は乾燥に24、48時間かかり、大川の木工所にあるような、工場塗装ラインには乗せられないのです。」

「と言うことは、それらの欠点が改善されているんですね。」

「その通りです。グレースオイルは、乾燥時間を大幅に短縮している、室温20度で4時間程度で乾きますから、工場の量産家具に向いています。しかも、耐水性や撥水性を持つていることから、日本の風土に向いているのです。」

健康住宅、シックビル症候群、室内化学物質汚染、化学物質過敏症などという言葉をよく耳にします。最近わが国でも環境問題はいろいろな方面で関心を持たれるようになりましたが、この点はいかがでしょうか。  
「硬化補助剤を使っていますが、ホルマリンをはじめ、トルエン、キシレン、スチレンなどの第2種有機溶剤は一切使用していません。主に化粧品などの溶剤に用いられるものを使っています。従って、家庭や職場などの快適な生活に貢献する、安全な塗料といえるでしょう。」

今後環境に優しい塗料の開発に取り組みれますか。

「ええ、もちろんです。一般には環境意識が高まっていますし、その需要に応えるために開発を進めるのは当然だと、考えてい

ます。イタリアやドイツの自然塗料をそのまま用いるのではなく、日本の家具の種類や材質・気候風土、文化を考慮に入れた上で、専門的知識とこれを生かす感性を磨きながら、これを塗装製品に転化していく着実な努力が必要だと思っています。」

九州塗料工業は、ポリウレタン樹脂の面では、年間50000トン製造している、十分な設備を持つ定評ある会社。今後も魅力的な製品作り  
に励んでほしいと思います。

